

第2回京都府北福祉人材確保・定着戦略会議 開催概要

●日 時 平成27年1月30日(金) 13:30~15:15

●場 所 舞鶴YMCA国際福祉専門学校予定地

●要 旨

- ・舞鶴養成校の学生募集にあたっては、引き続き、各関係機関が協力して行う。
- ・宮津実習センターの実習受入にあたっては、養成校や各法人と連携して行う。
- ・福知山現任者研修について、平成27年5月から研修を開始予定。受講者は、北部地域等広く受け入れる。

●内 容

1 あいさつ

北部福祉人材養成システムを中心とした人材確保対策に係る動きを御報告するとともに、意見交換を行いたい。

参画団体の御協力を得て、介護・福祉分野に若者を呼び込むための様々な取組みを府北部地域で盛り上げてやっていきたいので、よろしくお願ひしたい。

2 報告事項

(1) 『福祉フェスタ in まいづる』の開催結果について

●京都府

1月25日に『福祉フェスタ in まいづる』を開催地の舞鶴市を始め、各団体の皆様方の御協力を得て開催させていただいた。ハローワーク、市町、ジョブパーク等での広報を周知協力頂き、予想を上回る1,512名の方に御参加いただいた。

きょうと介護・福祉ジョブネット北部ブランドチームメンバーの福祉若手職員の方に企画からステージまで携わっていただき、福祉の魅力発信を行ってもらった。

アンケート結果では福祉の理解が深まったと回答いただいた方が79%となり、「いろんな機器を体験させてもらい、良い勉強になった。」、「福祉についてもっと知りたいと思った。」という声が寄せられ、皆様方の御協力の下、実施することができた。今後も効果的な福祉の魅力発信の機会を考えていきたい。

●YMCA学園（阿部設立準備室長）

当日はブースを設置させていただき、舞鶴校の入学相談を実施した。14名の方が訪問され、熱心に話を聞いていただいた。高校1、2年生が多く、今後の進路選択にあたっての御相談を受けた。また社会人の方も3、4名おられ、安定している福祉業界への転職をお考えであった。

(2) 地域医療介護総合確保基金について

●京都府

消費税増収分を活用した新たな財政支援制度「地域医療介護総合確保基金」が創設され、各都道府県に設置。介護施設等の整備、介護従事者の確保事業が対象となる。

介護従事者確保事業の具体的なメニュー例として、介護人材確保対策のための協議会の設置や人材育成に取り組む事業所の認証制度の実施。介護人材の「すそ野の拡大」のための小中学校向けの仕事理解促進や資質の向上のためのキャリアアップ研修の実施などが挙げられている。

今後、都道府県において計画を作成することになるが、事業のアイデアや計画について、市町村、関係団体に照会をさせていただく。積極的な基金活用に向け、多くのアイデアを頂戴したい。

●京都知的障害者福祉施設協議会

新基金は、2025年の介護人材確保を見据えたものと認識しているが、障害分野の職員の育成につながる事業も対象にできないだろうか。

●京都府

京都府では、介護・福祉人材確保事業は、障害分野も対象として展開しているところ。国に確認し、対象となる部分については、計画等を併せて考えていきたい。

●福知山市

新基金の京都府への配分はどの程度か。

●京都府

京都府は人口ベースでは約2%だが、府で実施している取組みが国で評価され、事業メニューにも取り入れられていることもあり、できる限り確保に努めてまいりたい。

3 協議事項

(1) 舞鶴養成校学生募集の状況及び今後の連携策について

●舞鶴市

26年4月～7月に耐震化工事を実施。26年8月～12月に改修工事を実施。1月～開校の準備に取りかかっているところ。

●YMCA学園

1月から机、備品等を準備し、1/20に近畿厚生局の養成校指定の現地審査が終了。今後、私学審議会において最終審査となる。

学生募集状況は、広報解禁となったのが夏以降であったため、難しい状況であるが、現在13名の方が入学予定。今後も引き続き、高校等への出前講座を実施するなどPRに努めていきたい。現在、各市町の広報誌に学校紹介の記事を継続的に掲載していただいているので期待したい。

●教育庁高校教育課

府立高校の校長会（理事会、中丹、丹後ブロック）において、新しくできる学校について御説明いただいたところ。

●京都府老人福祉施設協議会

学校のパンフレットを事業所の窓口にも置いていたが、社会人の方に案内するというのであればハローワークで御紹介いただくほうがいいのではないか。

●ハローワーク舞鶴

学校のパンフレットを掲示しているが、具体的に窓口相談までは至っていない。ハローワークに来所される求職者が全体的に減っていることもあり、福祉希望者も少なくなっている。

●福知山市

福知山市の広報誌2月号にも掲載予定であり、定員に達するように、協力していきたい。

(2) 宮津総合実習センターの概要及び今後の連携策について

●宮津市

宮津市は、養成システムの中の総合実習センターの整備・開設を担っている。単なる実習センターではなく、高齢・障害・児童福祉現場での実践教育を可能とする現場一体型人材養成拠点施設を作ろうということで、これまで協議を進めてきた。

現場一体型施設として、実習施設、宿泊施設、保育施設、障害施設、特別養護老人ホームを一体的に整備するもので、宿泊しながら学べる施設となっている。

1月21日に記者会見を行い、整備構想について発表したところ。養成システムの福知山市、舞鶴市と連携を密にし、戦略会議の各構成団体の御支援・御協力を頂き、北部の福祉人材育成・確保につながるよう頑張りたい。

●みねやま福祉会

福祉を学ぶ学生を対象に、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士等資格取得に必要な実習を受け入れていきたい。単なる実習ではなく、養成校と連携して現場で求められる人材の育成につなげたい。

順次、管理栄養士、栄養士、医行為、看護師、理学療法士、作業療法士等の実習も受け入れていきたい。

現任職員向けの実習も積極的に取り組みたいと考えており、例えば認知症介護実践者研修等の施設実習や日本レクリエーション協会公認指導者研修などを実施し、スキルアップを図っていきたい。

また、地域の方々への実習として、認知症サポーター養成講座やボランティア介護実習等や、中・高生等の職場体験なども考えているところ。

養成校との連携が大切であり、法人同士の連携にもしっかり取り組んでいきたい。

●福知山市

北部全体の実習センターとして期待しているところであるが、京都府南部等の実習生が宮津実習センターに偏ってしまうのではと危惧しているところである。

●みねやま福祉会

良い実習施設に学生が就職するという傾向にあるが、一法人のこととしてではなく、北部地域全体の活性化をしっかりと考え、法人間で連携していくつもりである。

●京都府

カリキュラム作成にあたって意見交換などはされるのか。

●みねやま福祉会

実習は法定のカリキュラムに従って実施していく。実習に行くことで福祉への就職をやめるケースがある。実習を通して、施設が人材を育成するという共通認識を持った上で、取り組んでいけないといけない。

●YMCA学園

養成校としても実習センターと連携してまいりたいので、受入についてよろしく願いたい。

●福知山市

京阪神からも実習生を呼び込まれると思うが、全て宮津実習センターに集約されるのか。

●京都府

実習施設を一本化するものではなく、養成校の実習方針もあると思う。宮津実習センターには宿泊機能を持つ予定であり、学生の新規開拓を行い、広げていけたらと考えている。

(3) 福知山現任者研修の概要及び今後の連携策について

●福知山市

福知山市においては現任者研修を担っているところ。福知山市内に福祉施設を有する 11 の社会福祉法人で構成された一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会が運営主体となって実施予定であり、これまで何度も協議を重ね、実施内容を検討してきたところである。平成 27 年 5 月から研修を開始予定である。

●福知山民間施設連絡協議会

一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会（福施連協）において、平成 26 年 1 月から検討を行い、各法人合意の上、26 年 8 月 28 日に一般社団法人化したところ。

介護福祉士実務者研修の設置計画書を近畿厚生局に提出。研修場所は、成美大 2 号館を借りて実施する。今後、研修室を整備し、各施設の職員が一緒になって備品搬入等を行う予定。

現任職員だけでなく、府民・市民に広く受講してもらえる研修機関として、人材の確保・専門性の向上、人材育成・定着支援につなげたい。行政とも連携し、北部の人材を育てていきたいと考えている。

具体的には、5 月から実務者研修地域研修（実務者研修修了認定研修）を開講。27 年 8 月には実務者研修の指定予定であるので、9 月からは実務者研修として実施する。

無資格者向けの 450 時間コース、ヘルパー 2 級・介護職員初任者研修有資格者向けの 320 時間コースを設定。1 クラス 30 名を 2 クラス開講し、スクーリングは月 2 回、隔週で火曜日に実施予定。通常実施されている実務者研修よりもスクーリングを充実させている。3 月から受講生の募集を開始していきたい。

その他、介護職員初任者研修や新任職員向け研修、中堅職員研修、管理者研修、介護福祉士国家試験受験対策講座などを開講予定。

福知山市以外の職員も受講可能であり、受講生の確保が課題と考えているので、是非、多くの方に参加いただきたい。併せて受講料の補助を御検討いただきたい。

医療的ケアの講座を行うため、指導看護師養成研修に 7 名派遣予定である。質の高い、良い講義ができるに支援をお願いしたい。

●京都府老人福祉施設協議会

医療的ケアの研修の受講は、施連協加盟施設の職員が優先で、枠に空きがあれば、他地域の職員も受講可能ということか。

●福知山民間施設連絡協議会

初年度、どれくらいの受講生があるのか調査しているところ。経営面のこともあり、施連協での募集状況を確認しながらではあるが、北部の研修機関として福知山市以外の方も積極的に受け入れていきたいと考えている。

●京都府老人福祉施設協議会

府老協として、医療的ケアの研修を27年度は福知山にお願いし、28年度は宮津にお願いすればいいかと思っていたが、それは難しいのか。

●福知山民間施設連絡協議会

27年度は実務者研修の一部として医療的ケアを実施する。個人的な意見となるが、福施連協の中でも介護福祉士向けの医療的ケア研修は、ニーズがあるので、福施連協としては、28年度以降の実施を検討したい。

●YMCA学園

実務者研修を受講して実務経験を積めば介護福祉士試験を受験はできるが、離職者または新卒者については、養成校に優先いただきたい。

●京都府

福知山現任者研修は基本的には現任者向けの取り組みと考えているが、色んな選択肢を作り、人材確保に向けて、資格取得、キャリアアップにつながればと思う。

●福知山民間施設連絡協議会

高校を卒業して、すぐに働くのではなく養成校でしっかり学んでもらうのもよいと思っている。決して取り合いになるとは考えていない。高校を卒業してすぐに働きたいという方もおられるのは事実であり、それぞれのニーズに合わせて柔軟に対応していきたい。

4 その他

●学識経験者

宮津実習センターについて、人材養成という観点から高齢・障害・児童という複合型の施設になったと思うが、複合型施設のシナジー効果を活かして、質の高いケアが期待できる。実習生の視野も広がると思うので、養成校等と連携して進めていただきたい。

●みねやま福祉会

北部で生まれ育った子どもたちが福祉の資格を取得して、北部の地元に戻ってくるという循環システムを作るため、地元自治体において、奨学金制度等の人材確保施策を積極的に取り組んでいただきたい。もちろん我々もしっかり取り組む。

小中高校生向けにもっとポジティブに伝えることが重要だと思う。福祉現場から積極的に学校へ行って話しをすることや職場体験の機会を増やすべきと考える。

●京都知的障害者福祉施設協議会

戦略会議の今後のあり方について、全体会議も必要だが、養成システムの運営主体・市が集まり、京都府のイニシアチブの下、集約した議論の場があればと思う。そして、養成システムにおけるそれぞれの機能の違いを明確にし、連携方法などを協議すべきではないか。また、研修の受講料に対する補助などを検討いただきたい。

●京都府

戦略会議については、今後も適宜開催していきたいと考えている。併せて実務部会又は専門部会を開催することとし、機動性を高めながら進めてまいりたい。

●京都府看護協会

医療的ケア指導看護師養成研修を2月に追加実施する。引き続き、福祉分野へ力を入れていきたい。

●府立医科大学附属北部医療センター

北部医療センターは、本日、京都府から「喀痰吸引登録研修機関」に登録いただくとお聞きしている。これを受け、3月に「介護職員等による喀痰吸引等研修」を予定しており、周知し、実施していきたい。